



キーウェアソリューションズ 株式会社
東証第二部 3799

2019年3月期 第2四半期

決算説明資料

IT can create it.



※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

1. 第2四半期 業績概要
2. 2019年3月期 主要方針・取り組み状況
3. 通期業績予想
4. 参考資料

1.第2四半期 業績概要

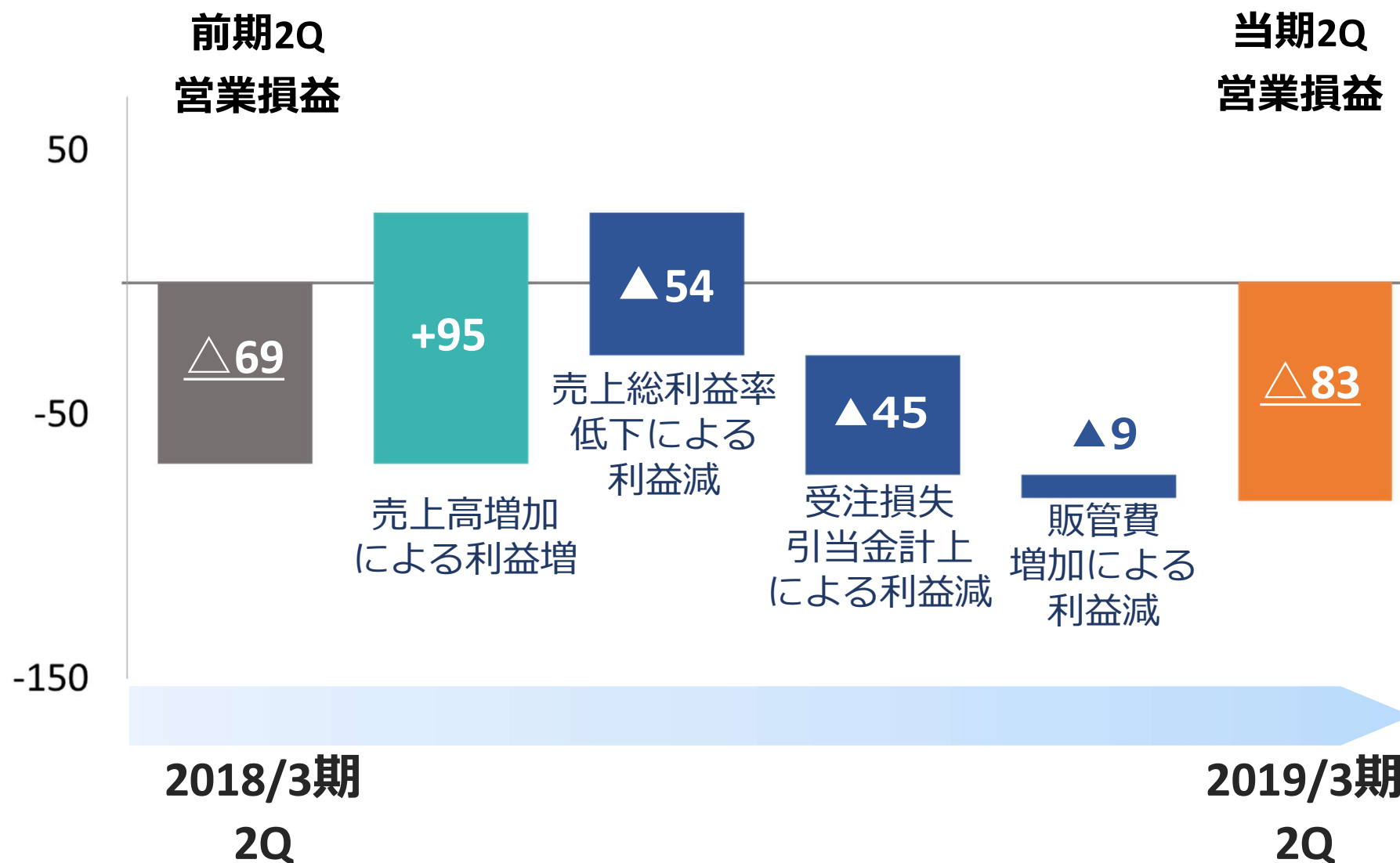
受注が堅調に推移し増収

(単位：百万円)

	2018年3月期 2Q	2019年3月期 2Q	前年同期比 (下段:増減率)
売上高	7,415	8,037	+622 (+8.4%)
営業損益	△69	△83	△13 (－)
経常損益	△67	△34	+33 (－)
当期純損益	△70	△39	+30 (－)

営業損益変動要因

(単位：百万円)



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

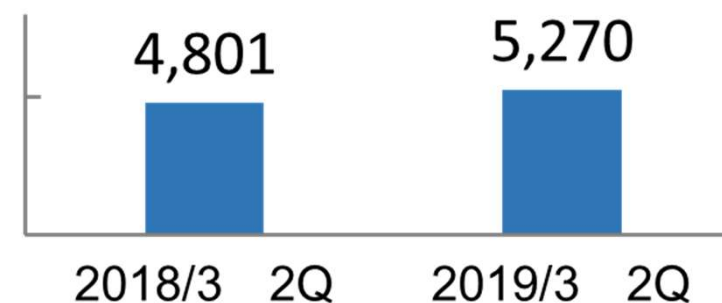
<システム開発事業>

（単位：百万円）

	2018/3 2Q	2019/3 2Q	前年同期比
売上高	4,801	5,270	+9.7%
営業損益	12	△103	—

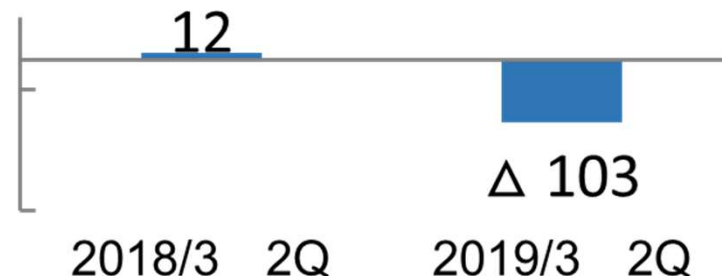
売上高

官庁系既存案件での増額、運輸系大型請負案件の売上計上等により増収



営業損益

機器販売を含む大型案件受注による利益率低下や不採算案件発生による受注損失引当金の計上により損失



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

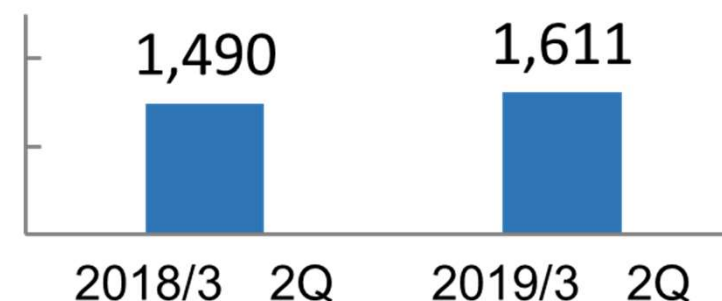
< S I 事業 >

(単位：百万円)

	2018/3 2Q	2019/3 2Q	前年同期比
売上高	1,490	1,611	+8.1%
営業損益	31	72	+132.9%

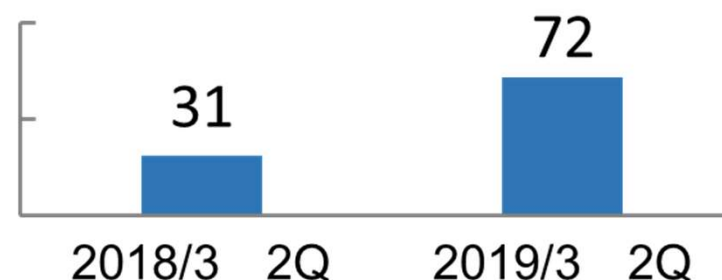
売上高

ERP系、流通系において、新規顧客獲得など堅調に推移し増収



営業損益

売上高の増加に伴い増益



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

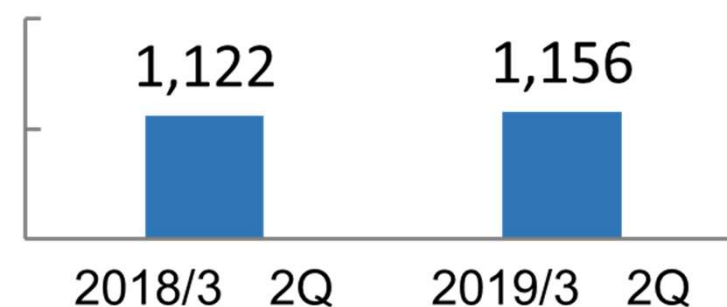
<その他事業>

（単位：百万円）

	2018/3 2Q	2019/3 2Q	前年同期比
売上高	1,122	1,156	+3.0%
営業損益	△33	12	—

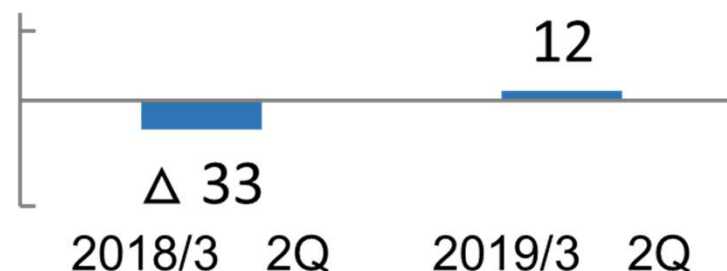
売上高

サポートサービス系、EC/Web系
などが堅調に推移し、増収



営業損益

売上高の増加、販売費の抑制により
利益計上



トピックス

萩原電気グループの萩原テクノソリューションズ株式会社と業務提携

萩原電気グループが持つ製造業界で培ってきた顧客基盤や実績と、当社の強みを生かし、業務アプリケーション『IFS Applications™』をベースにした**製造業向けERPソリューション**を提供



[写真] 左：萩原電気ホールディングス株式会社 代表取締役社長 岩井 三津雄氏、中：当社 代表取締役社長 三田 昌弘、右：萩原テクノソリューションズ株式会社 代表取締役社長 白木 一成氏

優れたセールスパートナーとして二社から表彰

- ・ 2018年5月、インフォテリア株式会社* より、**「ASTERIA Contribution Award 2018」**を受賞

[写真] 左：インフォテリア株式会社* 執行役員 熊谷 晋氏、右：当社 執行役員 沖村 浩



*2018年10月1日より「アステリア株式会社」に社名変更

- ・ 2018年6月、キヤノンITソリューションズ株式会社より、**「Web Performer 2018年度 エクセレントアワード」**を受賞

2. 2019年3月期 主要方針・取り組み状況

1 大型請負案件の着実な獲得・遂行

- ・ 早期の体制構築推進
- ・ キーウェアグループ 5社(地方拠点3社含む)との連携強化
- ・ ビジネスパートナー企業との関係強化

[上期成果]

官庁系、運輸系、ERP系等、複数の大型案件を受注

2 顧客基盤の拡大

- ・ 新規チャネル(大手SIer)との連携拡大
- ・ 新規一次請け案件の獲得推進

[上期成果]

新規チャネルからの受注拡大、ホテル系、ERP系等で新規一次請負案件を獲得

3 不採算案件の抑制

- ・ 全社横断的組織によるプロジェクト管理の徹底・強化

[取り組み状況]

- ・ プロジェクト管理部門によるモニタリングの精度向上
- ・ ナレッジ情報共有データベースの整備、等

4 利益体質の強化(高収益体質への変革)

- ・ 高収益案件への要員シフト、請負化推進
- ・ 生産性向上を推進（開発生産性向上、社内の業務効率化）

[取り組み状況]

- ・ 案件を再評価し、採算性を重視した受注活動を展開
- ・ 開発現場において、作業手順改善やテスト自動化ツール等の活用推進、スタッフ部門においてRPAの導入推進

5 新技術への取り組み

- ・ AI、IoT等の新技術、次世代ERPの技術者育成

[取り組み状況]

- ・ NEC「AI・IoTビジネス共創コミュニティ」に参加
- ・ SAP Business ByDesign、SAP S/4HANA対応要員拡大

6 社員の成長・働きがい向上に向けた取り組み

- ・ マネジメント力向上、イノベーション創出に向けた教育実施
- ・ 社員の働きがいをもつ仕組み・環境整備を推進

[取り組み状況]

- ・ 新規事業創出を目的とした研修プログラムを開始

3. 通期業績予想

2019年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	
	実績	予想	前年同期比
売上高	16,752	17,000	+1.5%
営業利益	409	300	△26.8%
経常利益	465	300	△35.5%
当期純利益	204	200	△2.2%

御清聴いただきありがとうございます



お問い合わせ

E-Mail : ir@keyware.co.jp

TEL : 03-3306-3799

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

4. 參考資料

会社概要

社 名	キーウェアソリューションズ株式会社
事 業 内 容	1. システム開発事業 (アプリケーションシステムの構築に関する業務、および、インフラ関連のシステム開発に関する業務) 2. 総合ITサービス事業 (システムインテグレーション業務/サポート・サービス業務/販売業務/パッケージ業務)
代 表 者 名	代表取締役社長 三田 昌弘
設 立	1965年5月
資 本 金	17億37百万円
売 上 高	167億円 (2018年3月期・連結)
従 業 員 数	1,072名 (2018年3月末現在・連結)
主 要 法 人 株 主	・日本電気株式会社 ・住友生命保険相互会社 ・株式会社JR東日本情報システム ・株式会社三井住友銀行 (2018年3月末現在)
連 結 子 会 社	キーウェアサービス株式会社 キーウェア北海道株式会社 キーウェア西日本株式会社 キーウェア九州株式会社 株式会社クレヴァシステムズ

企業理念

事業領域

情報技術に関する全てを事業領域とします。

企業風土

個人の個性と能力を発揮する事に価値を置きます。

社会的役割

創造性に富んだ情報技術によってお客さまの要求を超えたソリューションを提供し、お客さまの夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。

企業スローガン

IT can create it.
クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

沿革

Phase1

技術者派遣、受託開発で実績と評価を獲得

- 1965年 ・ コンピュータの総合コンサルティング会社として日本電子開発株式会社設立
- 1974年 ・ 事務処理ソフトウェアモジュール技術研究代表組合理事となる
・ 宇宙開発事業団試験ロケット打ち上げをソフト部門で支援協力、宇宙開発分野でのソフトウェア開発事業を確立
- 1988年 ・ SI企業（第1期認定企業）として通商産業省より認可

Phase2

総合サービスによる高付加価値事業へ

ロータス、SAPジャパンなど最新技術を持つテクノロジーパートナーと協業を開始

- 1991年 ・ ヘルプデスクサービス事業を開始
- 1994年 ・ ソリューションセンターを開設しオープンシステム技術開発・蓄積に取り組む
・ ロータスノーツなどのISV認定技術教育事業の開始
・ SAPジャパン社との協業により、ERP（R/3）事業立上げ
- 1995年 ・ フィールドサービスセンターを設置し、コンピュータ保守事業を立上げ

Phase3

ITソリューションプロバイダーとして更なる進化

ISO9001、プライバシーマーク、ISMSを業界の先駆けとして、認証取得し、他社をコンサルティングできる体制を確立

- 1999年 ・ 品質マネジメントシステム（ISO9001）を全社で認証取得 ・ SAP R/3自社導入
- 2000年 ・ プライバシーマーク制度認証取得
・ 三菱商事、ジェイアール東日本情報システム、日本HPより 資本参加を受けパートナー関係強化
- 2001年 ・ 社名をキーウェアソリューションズ株式会社に変更 ・ キーウェアサービス(株)設立
- 2002年 ・ SAPジャパンより、SAP AWARD OF EXCELLENCE 4年連続受賞
・ 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（本社）
- 2003年 ・ 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（グループ全体）
・ キーウェア北海道(株)、キーウェア西日本(株)、キーウェア九州(株)設立
- 2004年 ・ 日本電気 UNIVERGE アプリケーションパートナー認定取得
- 2005年 ・ 日本電気 UNIVERGE セールスパートナーダイヤモンド認定取得
・ IP電話事業開始 ・ keyCOMPASS事業開始

Phase4

ジャスダック、東証2部上場事業領域の拡大に向けて加速

クレヴァシステムズを子会社化
IT新時代に向けた積極的な取り組み

- 2006年 ・ 環境マネジメントシステム（JISQ14001：2004（ISO14001：2004））認証取得
- 2008年 ・ ジャスダック証券取引所に株式を上場 ・ 資本金を17億37百万円に増資
- 2009年 ・ 東京証券取引所第2部に株式上場 ・ 株式会社クレヴァシステムズを子会社化
- 2010年 ・ 東京証券取引所ディスクロージャー新人賞を受賞
・ 株式会社NTTデータ イントラマートとBizjソリューション販売に関する特約を締結
・ Bizj AWARD 2010 秋において「Excellent Project Partner's Award」を受賞
- 2011年 ・ 日本オラクル株式会社と「Oracle Exadata Database Machine」導入コンサルティングサービスで協業開始
・ IFSジャパン株式会社とビジネスパートナー基本契約締結
- 2013年 ・ Bizj AWARD 2013 春において「Sales Partner's Award」を受賞
- 2015年 ・ 札幌、大阪、福岡に営業所を開設
- 2017年 ・ 合併事業会社「株式会社イーテア」設立 ・ Bizj AWARD 2017において「Excellent Award」を受賞
- 2018年 ・ ASTERIA Partner Summit 2018において「ASTERIA Contribution Award 2018」を受賞
・ キヤノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2018年度 エクセレントアワード」受賞